

国際政治

156

国際政治研究の先端 6

日本国際政治学会編

イギリス・キャラハン労働党政権と欧州通貨統合	池 本 大 輔
朝永三十郎の国際関係認識	芝 崎 厚 士
交渉による内戦終結と領域的権力分掌の陥穽	佐 伯 太 郎
A S E A N研究におけるコンストラクティヴィズム的 理解の再検討	湯 川 拓
日本の仲介外交と日英摩擦	ジェームス・ルエリン
ドゴールの外交戦略とベトナム和平仲介	鳥 潟 優 子
暗号アルゴリズムの国際標準化	須 田 祐 子
満州事変下の吉野作造の国際政治論	藤 村 一 郎
国連の予防展開の可能性と限界	三 宅 浩 介
経済グローバル化による社会集団の選好への作用	富 田 晃 正

< 書 評 >

山本吉宣著

『「帝国」の国際政治学』

渡 邊 啓 貴

木村光彦・安部桂司著

『戦後日朝関係の研究』

李 泳 采

2009年3月刊